



2025年度 全体研修

放課後等デイサービスわたぼうし

2024年度事業報告

月	開設日数			登録 児童数	延利用 人数	利用平 均	保育料・事 業費	活動費	レスパ イト (延長 保育 料)	その他	年会費・ 事務手数 料	合計
	平日 開所 日数	休日 開所 日数	月合計 開所日 数									
4月	17日	8日	25	36人	179	7.1人	1,984,563	29,400			108,000	2,013,963
5月	21日	3日	24	36人	181	7.5人	1,927,746	28,050				1,955,796
6月	20日	6日	26	37人	200	7.6人	2,163,241	31,750	800		3,000	2,195,791
7月	14日	13日	27	36人	200	7.4人	2,156,029	34,750		9,000		2,199,779
8月		23日	23	36人	175	7.6人	2,042,662	35,000				2,077,662
9月	19日	4日	23	36人	180	7.8人	1,873,092	27,650				1,900,742
10月	22日	4日	26	33人	201	7.7人	2,074,689	31,450				2,106,139
11月	19日	7日	26	33人	191	7.3人	2,013,711	30,750	1,400			2,045,861
12月	16日	9日	25	33人	184	7.3人	2,186,731	30,300		3,600		2,220,631
1月	18日	5日	23	33人	188	8.17人	2,187,850	29,600				2,217,450
2月	18日	4日	22	32人	174	7.91人	1,956,512	34,800				1,991,312
3月	16日	9日	25	33人	191	7.64人	2,189,896	38,200		11,250		2,239,346
合計	200日	95日	295		2244	7.61	24,756,722	381,700	2,200	23,850	111,000	25,164,472

目標 24,400,000円
実績 25,164,472円

達成率 103%

開設日数の増加により、
延利用人数増 前年度比 113%

平均利用数 7.6人/日
目標 8.5人/日 に対し 90%



- ・ 2024年4月からの報酬改定 若干プラス改訂となった
- ・ 特例交付金の給付により報酬プラス
- ・ 曜日により、利用児数の差が大きかった

小学生・中高校生の一体化

→主活動は小、中高別々で設定

小学生 遊び、体験活動を中心にした放課後支援

→楽しいと思える経験の場作り

中高生 将来に向けた自発的、自立的活動のサポート

→個々の作業のスキルアップ

2025年度行動計画

大目標

- ①早期の減算解消（8月目標）
- ②基本的な支援力を身につける
- ③安定的な利用人数を確保する

設定目標 13,300,000円 (前年比54%)

児童発達支援管理責任者不在

児発管欠如による減算

減算解消に向けて

4月、5月は基本報酬の30%減算（配置加算無し）

6月、7月は基本報酬の50%減算（配置加算無し）

8月以降、所定単位の請求及び配置加算の取得可能

計画減算

4月	5月	6月	7月	8月
30%減算	30%減算	50%減算	解消（予定） 所定→欠如減算	所定

児発管欠如減算

4月	5月	6月	7月	8月
30%減算	30%減算	30%減算	解消→翌月より所定 50%減算	所定

4月～7月（4ヶ月の実績予測） ÷ 1,500,000円

8月以降 @11000円+ α /人

○基本報酬

○児童指導員加配加算

○専門支援体制加算

○専門支援実施加算（一人2回まで）

○福祉専門職配置等加算

○送迎加算

減算解消までのスキーム

4月 新入職員研修

支援現場サポート（小林・榊原・保住・大田）

5月 新入職員研修（5月12日）

支援現場サポート（小林・榊原）

6月 児発管基礎研修（受講者：清水）

発達支援計画作成 サポート（小林・大田）

7月 変更届 加算届 提出（小林）

発達支援計画作成 サポート（小林・大田）

発達支援計画面談（7月、8月） サポート（小林・大田）

基礎的な支援力を身に付ける

研修の実施

事業所研修

- ・ 感覚統合について 5月10日（丸山・門脇・都筑：ぐりーん合同）
- ・ 障害、発達の基礎知識 5月17日（丸山：他法人と合同）
- ・ 構造化の基本 7月（土曜日）（清水・丸山・門脇・都筑：ぐりーん合同）
- ・ 高次化理論の基礎 7月（土曜日）（清水・丸山・門脇・都筑：ぐりーん合同）

外部研修

- ・ 自立支援協議会による研修 等
- ・ 児童発達支援管理責任者研修（基礎：6月 実践：2月）

安定的な利用児の確保①【年間平均7.5人/日】

児童発達支援管理責任者欠如の間、新規利用者の受け入れ不可



欠如解消の8月より受け入れ可能

○利用希望者の募集

○相談員へのアプローチ

安定的な利用児の確保②【支援の充実】

子どもたちが休まず来所したくなる工夫をする

- 過ごしやすい環境を作る→構造化
- メリハリのあるプログラムの提供
- ご家族への丁寧なフィードバック

安定的な利用児の確保③【土曜日の活動の拡大】

現行土曜日：中・高校生の活動

中高校生の活動 + 月, 金利用の5.6年生を対象に体験活動

活動の枠組みを変え、土曜日の利用数を増やす

6月～3回/月 各回、3人ずつの利用

過ごしやすい環境作り

構造化の学習会（7月）

個々のアセスメントの充実（4月から実施中）

活動のフレームを明確にする（曜日ごとに組み立て済み）

「時間の構造化」いつ、何をするのかスケジュールの可視化

「空間の構造化」どこが、何をする場所なのか分かる

「手続きの構造化」何をするのか、活動や物の位置、順番等の明確化

メリハリのあるプログラムの提供 (活動のフレームを作る)

月曜日・金曜日

下校→自立課題（宿題）→自由遊び→はじめの会→おやつ→主活動（SST）→選択遊び

火曜日・水曜日

下校→自立課題→自由遊び→はじめの会→おやつ→主活動→選択遊び

土曜日

来所→はじめの会→主活動→昼食→自立課題→主活動→自由過ごし→終わりの会

ご家庭への丁寧なフィードバック

- お迎え時、どのスタッフでもご家族対応が出来るように、ロープレの実施（5月中に実施）
- 各ご家庭の子育て観や、今日、注目する場面をスタッフ間で共有する（当日打ち合わせ時、5分程度で実施）
- 今日は誰のご家族と話をする、と、毎日目標を決める（各自）
- お迎え時、スタッフで声を掛け合い、対応に遅れがないようにする
- 活動の中で、上手く出来ていたことを中心に話せるよう、子どもの姿をよく見る

5領域支援 具体的活動

運動・感覚	サーキット等の運動遊び 校庭や庭での外遊びで体を動かす	感覚統合
認知・行動	自立課題の設定 集団作り →グループリーダー作り 好きな事、楽しみに出来る活動を増やす	個々の特性に合わせた構造化
言語・コミュニケーション	カード交換によるやり取りの支援 特性に合わせたスケジュールの掲示	PECS
人間関係・社会性	SSTの実施 地域のイベント参加等 公共交通機関の利用練習	チャレンジ企画
生活 地域連携等	おやつの提供で、学校と放課後の切り替え 学童との合同取り組み 保護者支援、保護者座談会の実施	